

# 大会競技規則

## 1. ゴルフ規則

2023年日本ゴルフ協会ゴルフ規則およびSpeeder Challenge大会ルールを適用する。競技規定に変更もしくは追加がある時は、競技委員会より、開催当日のスタート前に全選手へ告知する。

## 2. シングルス競技部門

### クラブと球

a 適合ドライバーヘッドリスト：MLR G-1 を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

b 溝とパンチマークの規格：MLR G-2 を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

c 公認球リスト：MLR G-3 を適用する。

このローカルルールの違反の罰：失格

d ワンボールルール：MLRG-4 を適用する。

※ MLR(モデルローカルルール)はJGAゴルフ規則のオフィシャルガイド参照。

## 3. ダブルス競技部門

ダブルス競技部門はSpeeder Challenge大会ルールおよび下記の競技の条件を適用する。

1. 使用クラブ：「SLEルール適合外品（高反発クラブ）」「2010年新しい溝の規則に適合外品」を使用することができる。

2. 使用ボール：ワンボール条件」は採用しない。

3. その他の規則は2023年日本ゴルフ協会ゴルフ規則に順じて運用する。

## 4. 距離計測機器の使用（規則4.3a(1)）

距離計測機器（レーザー距離測定器、携帯ナビ使用可※距離のみを測定するもの）の使用を認める。プレーヤーは距離のみを計測する機器を使用することができる。しかし、他の条件(例えば、標高変化、風速、傾斜など)を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則4-3の違反となり、2罰打。その後、さらに同じ違反（複数回違反）があった場合は、競技失格となる。

※距離計測器が他の条件(例えば、傾斜、風速、気温)を計測できる機能を持っている場合、その機能をOFF（使用できない状態）

にして使用すること。※ 距離計測機器を使用するためにプレーを不当に遅延させてはならない。

## 5. 練習（規則5.5）

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで2罰打を加えなければならない。ただしそのラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。但し、ハーフターンでの待ち時間中は指定練習グリーンでのパッティング練習のみ可とする。プレーを終えたばかりのグリーン上で球を転がすことも禁止する。

## 6. 打順（ダブルス競技部門）

ダブルス選手権において、スタートホールにおいてのティーショットの打順は組み合わせ表どおりとなり、それ以降はその前のホールのスコアの良かったチームがオナーの権利を持つものとする。チーム内の打順についてはチーム内の任意とすることができる。

## 7. プレーの中断、プレーの再開（規則5.7）

競技委員会からのアナウンスとする。

## 8. 不当の遅延；スロープレー（規則5.6）

ラウンド中は常にプレーファーストを心掛けてプレーしなければならない。また、ホールアウト後、次のティーインググラウンドからプレーするまでの間も、プレーを不当に遅らせてはならない。